



ArtemiS SUITE
PRoject

Code 50501

APR 501 主観テスト – SQala Lite

主観テスト - ArtemiS SUITE の SQala Lite は、SQala Basic の機能を絞った費用対効果の高いバージョンであり、被験者と個別に主観テスト（ローカル SQala セッション）を作成、実行できます。SQala ベーシックへのアップグレードにより、主観テストのさらに豊富なオプションが利用可能となります。

概要

APR 501 主観テスト SQala Lite

Code 50501

SQala Liteを利用して、個別の被験者向けに素早く簡単に主観テストの作成、実行ができます。

主観テストは直感的に作成でき、専門知識は不要です。この目的の為に、SQala Lite のページデザインは斬新かつわかり易く、ユーザーが短時間で小規模なテストから複雑なテストまで簡単に作成可能です。主観テストはカスタマイズ、保存、他の様々な主観テストシナリオへの再利用が可能です。



主なフィーチャー

個別の被験者向け主観テストの作成と実行の為に費用対効果の高い主観テストソフトウェア（SQalaローカルセッション）

- ＞ テンプレートを必要最低限の内容に絞ったシンプルかつ直感的なユーザーインターフェース
- ＞ 専門知識がなくても複雑な主観テストを素早く作成可能
- ＞ 斬新かつ機能的なページデザイン
- ＞ 2種類のステップタイプの主観テスト：
 - ＞ カテゴリー判定
 - ＞ ランキング

HEAD acousticsのハードウェアによる聴感に忠実な再生

SQala Liteで作成された主観テストは、SQala Basicでも利用できます（APR 500のライセンスが必要です。）

SQala Basicで作成された主観テストは、（SQala Liteで利用可能なステップタイプのみを用いたものであれば）、SQala Liteも利用できます。

リスニングスタジオまたは分散セッションタイプで複数の被験者向けに主観テストを実施するには、SQala Basic（APR 500）へのアップグレードと、SQala Net（ASP 501）及びSQala Server（ASP 502）の2つのライセンスが必要です。

アプリケーション

- ＞ ベンチマーキング
- ＞ ターゲットサウンドづくり
- ＞ 製品音の最適化

詳細

主観テスト - SQala Basic

SQala Liteによる主観テスト

主観テストの作成とローカルセッションの実行

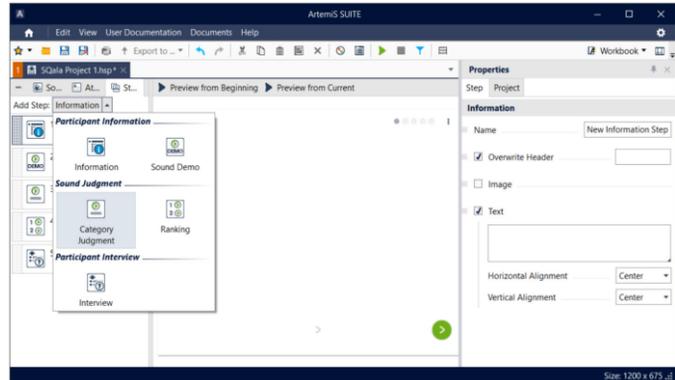
SQala Liteは、ページデザインが機能的で標準化されている為、複雑な主観テストでも素早く作成可能です。主観テストに必要なステップタイプは、個別に組み合わせて直感的に主観テストにレイアウトできます。わかり易くアレンジされた使い勝手のいいユーザーインターフェースは専門知識を必要としません。包括的な主観テストも素早く安心して作成できます。主観テストは一度に1人の被験者を対象としてローカルセッションとして実施できます。

主観テストステップタイプ

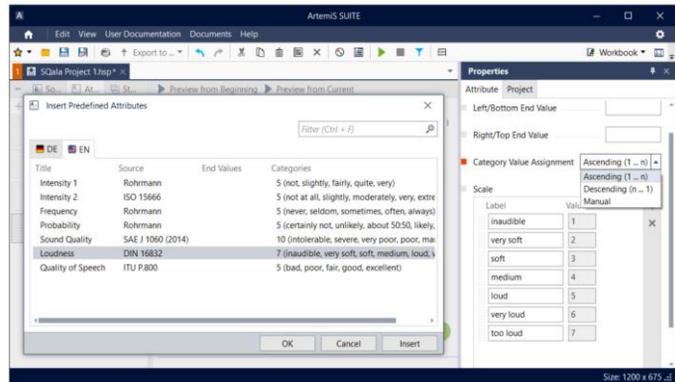
- 情報
 - 被験者へのインストラクションやその他の情報
- 音のデモ
 - 例として、極端な音や完全な音のスペクトルの提示
- カテゴリー判定
 - 属性に基づく音の評価
- ランキング
 - 直接聴感比較することによって複数の音を希望の順序に並べ替える
- インタビュー
 - 被験者が主観テスト中に提供しうる情報の収集

プレビュー

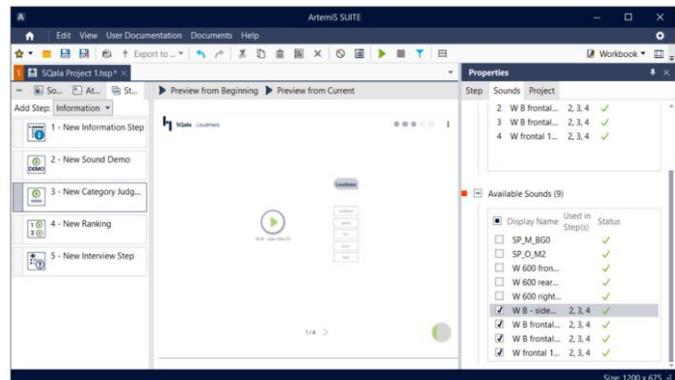
プレビューは、被験者の為に現在のページ数と、主観テストのレイアウトの両方を表示します。



最適レイアウトの為に、個別に主観テストステップタイプを選択したり、簡単にカスタマイズも可能です。



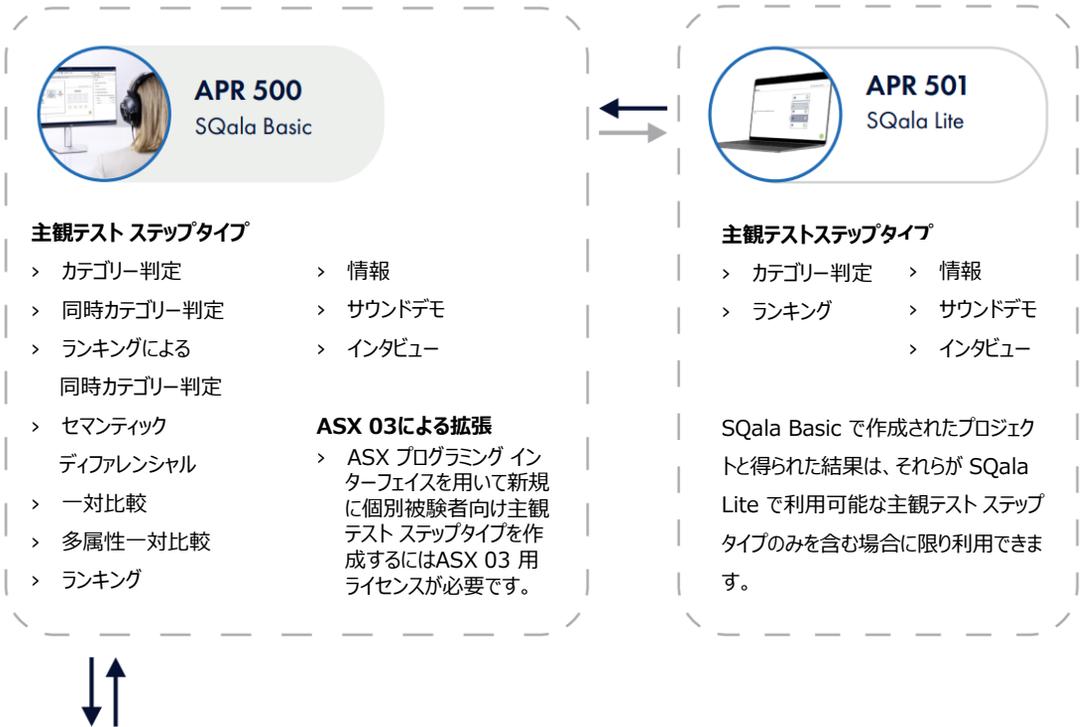
最適レイアウトの為に、個別に主観テストステップタイプを選択したり、簡単に評価属性を素早く設定する為の様々なオプションが用意されています。マニュアル処理も可能です。



必要に応じて、新たな音の追加等、プロパティを利用して主観テストをカスタマイズするオプションもあります。



個別被験者向け主観テストの作成と実行(ローカルセッション)



リスニングスタジオ セッション(個別モード or グループモード) または分散型セッションの複数被験者向け主観テスト



互換性

SQala Liteで作成されたプロジェクトは、SQala Basicでシームレスに再利用できます。

逆に、SQala Basicで作成されたプロジェクトとそれらの結果をSQala Liteで再利用するには、それらがSQala Liteで利用可能な主観テストステップタイプのみを含んでいる必要があります。

HEAD acousticsの聴感に忠実な再生のためのハードウェア

HEAD acousticsが推奨するヘッドフォンと再生モジュールを組み合わせ、正しいイコライゼーションを行うことで、高信頼性の音評価と最適化のための聴感に忠実な再生が可能になります。この目的のために、HEAD acousticsはSQalaと完全調和したソリューションを一式完結で提供しています。



HEAD acoustics の再生モジュールlabP2 とヘッドホンを用いることで、オリジナルの音のスペクトルや音像定位を正確に再現することができます。

SQala Basicへのアップグレード

SQala LiteからSQala Basicにアップグレード（APR 501-UG2-APR 500）すると多くの利点があります。

- ＞ さらなる主観テストステップタイプの恩恵を受けることができます。
 - ＞ SQala Liteで利用可能な主観テストステップタイプに加えて、以下の利用が可能です。
 - ＞ 同時カテゴリ判定
 - ＞ ランキングによる同時カテゴリ判定
 - ＞ セマンティック ディファレンシャル
 - ＞ 一対比較
 - ＞ 多属性一対比較
- ＞ リスニングスタジオまたは分散セッションにおける複数の被験者向け主観テストの実行。
 - ＞ リスニングスタジオまたは分散セッションにおける複数の被験者向け主観テストを実行できるオプションがあります。これにはSQala Net及びSQala Serverのライセンスも必要です。（SQala LiteからSQala BasicまたはSQala Basicライセンスへのアップグレードが、SQala Net及びSQala Serverを利用するための前提条件となります。）
- ＞ SQala拡張API（ASX 03）を利用して新規に個別の主観テストステップタイプを作成
 - ＞ ArtemiS SUITEのASX 03プログラミングインターフェース（ASX 03 が必要です。）を利用して、独自のステップタイプを設計し、それをSQala主観テストに統合できます。新規のステップタイプはSQalaインターフェースにシームレスに統合できます。
 - ＞ ASX 03は、様々な事例、実践的なアプリケーション、プログラミングリファレンスを含む詳細なドキュメントを含みます。

APR 000 Framework (Code 50000)が必要です。



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com